

和木町子ども・子育て支援事業計画 進捗状況等について 令和4年度評価

**令和5年11月30日
和木町教育委員会**

和木町子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

令和4年度評価資料

和木町では、第2期和木町子ども・子育て支援事業計画を策定していますが、各子育て支援施策の点検評価を行い、質の高い保育や幼児教育、ニーズに応じた子育て支援事業の実現に向けた、現在の取り組みや内容及びその進捗状況を確認することで、あらたな課題の抽出や効果的な事業展開に役立てるとともに、今後の施策及び事業の見直し・改善に役立てていきます。

（1）教育・保育給付

■1号認定者（3歳～5歳、幼稚園及び認定こども園）

※5月1日在籍児童数（ ）は広域利用者数

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見 込 値	123	100	100	57	55
実 績 値	88(6)	62(5)	61(1)	42(3)	-
1号認定者の割合	44%	34%	34%	30%	34%
評 価 結 果	同様な割合で1号認定こどもは減少しています。令和4年度は、少子化もありますが、1号認定こどもが少ない状況となっています。				
今後の方向性	今後行われるニーズ調査において保護者の希望等を把握し計画に反映する予定です。				
今後の課題	人口動態を把握しながら利用定員を再調整する必要があります。				

事業担当：教育委員会

事業額（広域分）：3,174,446 円

※参考に令和5年度の実績値も入力しています。

■2号認定者（3歳～5歳、保育所及び認定こども園）

※4月1日在籍児童数（ ）は広域利用者数

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見 込 値	116	114	114	110	106
実 績 値	110(9)	123(9)	117(7)	120(9)	-
2号認定者の割合	56%	66%	66%	70%	66%
評 価 結 果	相対的な児童数が減少しています。しかしながら全体の占める2号認定こどもの割合に変化は見られません。				
今後の方向性	今後行われるニーズ調査において保護者の希望等を把握し、数値設定を行う必要があります。				
今後の課題	人口動態を把握しながら利用定員を再調整する必要があります。				

事業担当：教育委員会

事業額（広域分）：9,412,810 円

※参考に令和5年度の実績値も入力しています。

資料2（令和5年度第1回和木町子ども・子育て会議資料）

■3号認定者（0歳、保育所及び認定こども園、地域型保育）

4月1日在籍児童数（ ）は広域利用者数

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	17	17	17	17	17
実績値	2(0)	3(1)	5(2)	2(1)	-
評価結果	見込値が実績値を下回りました。				
今後の方向性	継続維持します。（人口は減少するものの、保育ニーズは維持すると想定されるため。）				
今後の課題	年度途中には、和木こども園の定員12名は満員となります。今後、ニーズに適応した利用定員を設けていく必要があります。急激な少子化を見据えた定員管理を行う必要があります。				

※参考ため5年度の実績値も入力しています。

事業担当：教育委員会

事業額（広域分）：10,568,110円

■3号認定者（1歳から2歳、保育所及び認定こども園、地域型保育）

4月1日在籍児童数（ ）は広域利用者数

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	61	61	61	61	61
実績値	54(6)	59(10)	67(11)	58(12)	-
評価結果	実績値が見込値を下回りました。				
今後の方向性	継続維持します。				
今後の課題	出生児数は減少しているものの、保育ニーズとは連動しておりません。今後も、安定的な受け皿の確保が必要となります。 参考：和木こども園の定員は1歳定員24名、2歳定員30名。急激な少子化を見据えた定員管理を行う必要があります。				

事業担当：教育委員会

事業額（広域分）：21,988,490円

※参考ため5年度の実績値も入力しています。

和木こども園運営事業：196,098,038円 委託保育事業：45,055,236円

参考値

■学校児童数の推移

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
和木小学校	418	427	426	409	403
和木中学校	197	192	194	195	190
合計	615	619	620	604	593

各年5月1日現在（学校基本調査）

基本目標1 「地域における子育て家庭に対する支援」

■利用者支援事業

事業内容：子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じた相談助言を行い、関係機関との連絡調整等を実施する事業					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見 込 値	1	1	1	1	1
実 績 値	1	1	1	1	1
評 価 結 果	保健相談センターに子育て世代包括支援センターを開設しており、利用者支援事業（母子保健型）の事業を実施しています。				
今後の方向性	維持継続				
今後の課題	維持継続				

事業担当：保健相談センター

事業額：457,080 円

■地域子育て支援拠点事業

単位：人

事業内容：乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業（和木こども園に設置）					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見 込 値	1,022	1,090	1,114	1,120	1,125
実 績 値	335	441	354	-	-
評 価 結 果	週2回開設を行っております。子育てに対する相談や支援の窓口となっております。令和4年度は、2歳児の（令和元年度生まれ）保育利用が多かったため、利用人数が減少したと思われます。				
今後の方向性	維持継続				
今後の課題	維持継続				

事業担当：教育委員会（和木こども園）

事業額：168,343 円

■乳児家庭全戸訪問事業（乳児家庭訪問）

単位：人

事業内容：生後3ヶ月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見 込 値	69	70	70	70	70
実 績 値	59	47	51	-	-
評 価 結 果	すべての家庭を訪問することができています。訪問により情報提供や養育環境等の把握など、必要な支援を提供しています。				
今後の方向性	維持継続				
今後の課題	維持継続				

事業担当：保健相談センター

事業額：477,488 円

資料2（令和5年度第1回和木町子ども・子育て会議資料）

■養育支援訪問事業等

単位：人

事業内容：養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見 込 値	35	35	35	35	35
実 績 値	34	37	35	-	-
評 価 結 果	養育支援が必要な家庭を把握し、定期訪問を行っています。適切な養育の実施を確保のため、指導助言を実施。				
今後の方向性	維持継続				
今後の課題	維持継続				

事業担当：保健相談センター

事業額：327,688 円

■子育て短期支援事業（ショートステイ）

単位：人

事業内容：保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見 込 値	7	7	7	7	7
実 績 値	3	12	8	-	-
評 価 結 果	令和4年度の実績値は見込値を若干上回っています。				
今後の方向性	維持継続				
今後の課題	維持継続				

事業担当：保健福祉課

事業額：53,400 円

■ファミリー・サポートセンター事業（低年齢及び高学年）

単位：人

事業内容：乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見 込 値	0	0	0	0	0
実 績 値	0	0	0	0	0
評 価 結 果	未実施				
今後の方向性	維持継続				
今後の課題	維持継続				

事業担当：保健福祉課

事業額：0 円

■一時預かり事業（幼稚園在園児対象1号認定者）

単位：人

事業内容：主に、1号認定こどもが利用している認定こども園や幼稚園で教育時間以外の時間で一時的に預かり、必要な保育を行う事業。和木町では、和木こども園にて実施					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見 込 値	105	96	97	89	96
実 績 値	35	89	99	-	-
評 価 結 果	新型コロナウイルス感染症の影響が多少受けにくくなったことが想定されます。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

事業担当：教育委員会（和木こども園）

事業額：195,940 円

資料2（令和5年度第1回和木町子ども・子育て会議資料）

■一時預かり事業（在園児対応以外）

単位：人

事業内容：家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点及びその他の場所において一時的に預かり、必要な保護を行う事業。和木町では、和木こども園にて実施しています。和木町では満1歳以降の子どもさんを対象					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	75	74	74	75	75
実績値	102	89	44	-	-
評価結果	和木こども園事業 13人のうち、岩国市分：2人 和木町の方で他市町の事業所を利用した方：33人（岩国市：川西保育園5人、大竹市：小方認定こども園26人、柳井市：ひづみ保育園2人） 一時預かり事業は相互の利用協定を結んでおり、広島広域圏及び県内市町で利用ができます。 広島市、呉市、竹原市、三次市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、邑南町				
今後の方向性	利用を希望する方の利用を受け入れる体制整備を進めていく必要があります				
今後の課題	保護者の希望する利用回数の確保を行うこと				

事業担当：教育委員会（和木こども園）

事業額：76,720円

■時間外保育事業（延長保育事業）

単位：人

事業内容：保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する事業					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	118	117	119	44	44
確保方策	118	117	119	44	44
実績値	44	51	49	-	-
評価結果	令和4年度に令和5年度、令和6年度の数値の見直しを行いました。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

事業担当：教育委員会（和木こども園）

資料2（令和5年度第1回和木町子ども・子育て会議資料）

■病児病後児保育事業

単位：人

事業内容：病児・病後児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等をする事業。和木町内には事業所はありません					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見 込 値	37	37	37	37	37
実 績 値	5	31	27	-	-
評 価 結 果	令和4年度実績値：13人（岩国市内）、14人（大竹市内）利用（延べ人数） 和木町には、病児保育を実施する施設がないため、広島広域で相互の利用協定を締結し利用している状況です。 岩国市：ぶちはび（医師会病院（室の木））3人 シックキッズ（岩国メディカルサポート（南岩国））10人 大竹市：広島西医療センター14人 参考 病児保育事業の広域利用ができる市町 広島県 ・広島市・呉市・竹原市・三原市・大竹市・東広島市・廿日市市・安芸高田市・江田島市・安芸太田町・北広島町・府中町・海田町・熊野町・坂町 ・大崎上島町・世羅町・邑南町（令和5年度） 山口県 ・全域（うち病児保育を実施している自治体：下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、美祢市、周南市、山陽小野田市、平生町） 負担金額 大竹市 267,190 円 岩国市：141,588 円 計 408,778 円				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

事業担当：教育委員会

事業額：408,778 円

※令和5年度から邑南町が参加しました。

■放課後児童クラブ（放課後健全育成事業）4月1日在籍児童数

単位：人

事業内容：保護者が就労や、その他の理由により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見 込 値	124	124	104	124	113
実 績 値	103	102	103	104	-
評 価 結 果	令和4年度は、5年生5人及び6年生1人は入所決定を見送りました。夏休み等は、希望する児童全ての児童の利用ができました。				
今後の方向性	全ての学年を受け入れる体制の維持が必要です。				
今後の課題	少子化が加速しており、数年後には、かなりの余裕が出てくることが予測されます。より利用率を高める工夫が必要となってきます。				

事業担当：教育委員会

事業額：15,502,801 円

※その他経費あり

基本目標2 「子どもが健やかに生まれこころ豊かに育つ環境づくり」

■妊婦健康診査

単位：人、回

事業内容：妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する下記①～③の健康診査を行っています。					
①健康状態の把握					
②検査計測					
③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	966	966	980	980	980
対象人数	69	69	70	70	70
検診回数	14	14	14	14	14
実績値	638	598	494	-	-
対象人数	46	43	35	-	-
検診回数	14	14	14	-	-
評価結果	継続して妊婦のほとんどが、健診を受診していますが少しずつ対象者が減少しています。実績値は、見込値を下回りました。				
今後の方向性	維持継続				
今後の課題	継続維持				

事業担当：保健相談センター

事業額：4,811,920円

■乳幼児健康診査受診状況

単位：人、%

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1か月健診	対象者	64	59	55	42
	受診者数	62	54	46	35
	受診率	96.8	91.5	83.6	83.3
3か月健診	対象者	64	58	51	48
	受診者数	61	57	44	49
	受診率	95.3	98.3	86.2	102.1
7か月健診	対象者	68	58	58	47
	受診者数	68	59	47	49
	受診率	100.0	101.7	81.0	104.3
10か月健診	対象者	73	57	60	47
	受診者数	56	51	45	42
	受診率	76.7	89.5	75.0	89.4
1歳児健診	対象者	70	62	61	49
	受診者数	60	56	50	44
	受診率	85.7	90.3	82.0	89.8
評価結果	ほとんどの方が、検診を受診していますが、少しずつ対象者が減少傾向（少子化傾向）にあります。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

事業担当：保健相談センター

事業費：1,310,490円

資料2（令和5年度第1回和木町子ども・子育て会議資料）

■ 1歳6か月児童健康診査受診状況

単位：人、%

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
対象者		56	68	61	57
一般	受診者数	55	65	58	49
	受診率	98.2	95.6	95.1	86.0
歯科	受診者数	56	65	58	49
	受診率	98.2	95.6	95.1	86.0
評価結果		令和4年度は受診者が減少傾向にあります。			
今後の方向性		未受診者には個別面談の対応をしています。継続して対応が必要です。			
今後の課題		個別通知等の受診勧奨方法の検討が必要です。			

事業担当：保健相談センター

■ 2歳児歯科健康診査受診状況

単位：人、%

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
対象者		70	0	0	0
受診者数		64	0	0	0
受診率		91.4	0	0	0
評価結果		令和2年度より実施をしていません。			
今後の方向性		1歳6か月児での継続的なフォローや随時の相談対応にて不安の軽減を図ります。			
今後の課題		-			

事業担当：保健相談センター

■ 3歳児健康診査受診状況

単位：人、%

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
対象者		74	37	60	59
一般	受診者数	67	38	54	56
	受診率	90.5	102.7	90.0	94.9
歯科	受診者数	67	38	54	56
	受診率	90.5	102.7	90.0	94.9
評価結果		ほとんどの方が受診している状況です。			
今後の方向性		未受診者には個別面談の対応をしています。継続して対応が必要です。			
今後の課題		継続維持			

事業担当：保健相談センター

■ 妊産婦相談

妊婦相談の状況

単位：人

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
対象者数		61	58	55	41
転入妊婦面談		6	9	7	3
7～8か月面談		49	50	48	39
妊産婦サロン		16	14	14	16
評価結果		新型コロナウイルス感染症の影響か妊娠届出数が減少傾向にあります。			
今後の方向性		継続維持			
今後の課題		継続維持			

事業担当：保健相談センター

資料2（令和5年度第1回和木町子ども・子育て会議資料）

■離乳食・乳児食教室の実施状況

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加者数	14	0	8	0
離乳食	14	0	8	0
評価結果	新型コロナウイルス感染症の状況により令和4年度は実施していません。			
今後の方向性	今後も継続して個別の対応により不安の解消に努めます。			
今後の課題	継続維持			

事業担当：保健相談センター

■離乳食・乳児食教室開催回数（新型コロナウイルス感染症のため中止）

単位：回

令和4年度	離乳食教室	幼児食教室
参加者数	0	0

事業担当：保健相談センター

■育児相談の実施状況

単位：回、人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開催回数	21	16	18	20
初回参加者	106	81	64	71
延べ参加者数	261	157	160	202
評価結果	継続して相談対応を実施しています。			
今後の方向性	相談会以外も5歳児発達相談や個別の発達相談等も継続して実施し、保護者の不安解消に努めます。			
今後の課題	維持継続			
担当	保健相談センター			

事業担当：保健相談センター

子どもの健やかな成長への支援

■不妊治療対策事業

30,000円を上限に年1回通算5回までの不妊治療の一部助成を行っています。

令和3年度		令和4年度	
件数	補助額	件数	補助額
1件	23,440円	0件	0円

事業担当：保健相談センター

■町外私立保育園等に通う方へ給食費の助成

令和3年度		令和4年度	
件数	補助額	件数	補助額
16件	515,963円	14件	479,470円

事業担当：教育委員会

■出産祝金の支給

生まれてきた子ども達の健やかな成長のために、出産祝金の支給をしています。

第1子に10,000円、第2子に30,000円、第3子以降に50,000円

	令和3年度			令和4年度		
	第1子	第2子	第3子以降	第1子	第2子	第3子以降
給付対象者数	18人	19人	13人	13人	16人	10人
給付額合計	1,400,000円			1,100,000円		

事業担当：保健福祉課

子どもの健やかな育成を支える個人給付サービスの実施

■高校生以下（令和3年10月診療分より高校生も対象）の子ども達を対象に、必要な医療を安心して受けられ、疾病の早期診断、早期治療を促進し、健康の保持と増進を図っています。

福祉医療費（県制度）			子ども安心医療	合 計
	乳幼児	ひとり親		
対 象 者 数	236 人	69 人	888 人	1,193 人
医療費給付額	8,842,903 円	2,535,366 円	27,119,430 円	38,497,699 円

事業担当：保健福祉課

■任意予防接種助成事業

単位：件

町内の医療機関で予防接種を受ける場合の接種費用の一部を負担しています。

		助成件数		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
ロタウイルス（1価） 7,500 円／回	1 回目	14	0	-
	2 回目	13	0	-
ロタウイルス（5価） 5,000 円／回	1 回目	15	1	-
	2 回目	17	0	-
	3 回目	17	1	-
おたふくかぜ 3,000 円／回	1 回目	35	48	42
	2 回目	22	34	40
インフルエンザ 2,500 円／回	1 回目	0	687	521
	2 回目	77	40	30
評 価 結 果	継続して利用があります。ロタウイルスは令和2年10月1日から定期接種となりました。			
今後の方向性	維持継続			
今後の課題	維持継続			

事業担当：保健相談センター

事業額：1,623,500 円

■学校給食アレルギー対応文書料助成

アレルギー体質で学校に診断書の提出が必要な方に文書料（上限 3,000 円）の助成をしています。

令和2年度		令和3年度		令和4年度	
件数	補助額	件数	補助額	件数	補助額
合計：18 件 小学生 7 件 中学生 0 件 就学前児童 11 件	21,200 円	合計：20 件 小学生 13 件 中学生 0 件 就学前児童 7 件	21,500 円	合計：19 件 小学生 11 件 中学生 5 件 就学前児童 3 件	20,300 円

事業担当：教育委員会

■町外保育施設等に通う者の給食費助成事業（再掲）

町外の保育施設等に通園するこどもさんに和木こども園と同様の補助を行っています。

令和3年度		令和4年度	
件数	補助額	件数	補助額
16 件	515,963 円	14 件	479,470 円

事業担当：教育委員会

■ひとり親家庭等の自立支援の推進

ひとり親家庭医療を山口県と共同で実施しています。

令和4年度	
件数	助成額
939 件	2,535,366 円

事業担当：保健福祉課 ※数値は令和4年度から記載

児童虐待防止対策の充実

要保護児童等を支援するため、和木町要保護児童対策地域協議会を6回開催し、情報の共有、支援方法の協議等を行いました。また、保健相談センターには、こども家庭総合支援拠点を設置し、総合的な窓口支援を行っております。

令和4年度	
ケース数	ケース会議回数
8 件	6 回

事業担当：保健相談センター ※数値は令和4年度から記載

障害児施策の充実

■相談支援体制の充実 岩国市内3事業所に委託し、相談支援体制の強化を推進しています。

委託費：2,112,000 円

■児童福祉年金の支給

令和3年度		令和4年度	
対象者数	支給額	対象者数	支給額
34 人	2,304,166 円	35 人	2,473,331 円

■難聴児補聴器等購入等の助成

対象者数	補助額
0 人	0 円

■岩国市障害児等総合療育相談訓練等事業負担金

岩国市が運営している療育センターの和木町分の負担金として1,223,000 円を拠出しました。

事業担当：保健福祉課

基本目標3 こどもの成長を支える教育環境の整備

幼児教育の充実

■和木こども園保育教諭の教育研修

和木こども園保育教諭等が延べ15回研修に参加、職員一人ひとりのスキルアップを図りました。

■配慮の必要な子ども達への支援

和木こども園において、8名の加配の職員を配置しました。

■和木こども園・小学校・中学校の連携について

令和4年度については、合同研修会及びICT研修会3回を共同で実施、和木町コミュニティスクール協議会を3回実施し、園・小・中代表者が参加し、連携を深めました。

事業担当：教育委員会（こども園を含む）

就学児童の居場所づくり

■わきっこクラブ（放課後児童クラブ）を18時30分まで開設しています。

■放課後こども教室実績値

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により、登録者数、延べ参加人数ともに減少しました。

わきあいキッズ	令和3年度実績	令和4年度実績
	登録者数：65名（小中学生含む） 実施教室数：26教室 延べ参加者数：629名	登録者数：65名（小中学生含む） 実施教室数：47教室 延べ参加者数：1,146名

事業担当：教育委員会

子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備

■国際教育の推進

ALT1名、国際交流支援員1名により、学校及び和木こども園において英語教育活動を行いました。

また、こども園に配置されている国際交流支援員による英会話教室を開催しました。

事業担当：教育委員会

青少年健全育成の推進

7月5日、子ども環境クリーンアップ立入調査。1月11日に同クリーンアップ活動を実施しました。青少年問題協議会研修会を11月30日に実施、青少年問題の現状と地域ができること、和木小中学校の現状、和木スクールガード、防犯パトロールの取組み、和木中在所より青少年の現状の報告がありました。

事業担当：教育委員会

基本目標4 多様な働き方に対応した子育て支援の展開

■広域病児・病後児保育事業（再掲）

利用者数：27名（延べ人数）（岩国市13人・大竹市14人の施設利用分）

岩国市：シックキッズ・ぶちはぴ 大竹市：広島西医療センター

負担金拠出額：408,778円

事業担当：教育委員会

■父子手帳の交付件数43件（前年度61件）

※妊娠届時に父子手帳を交付しています。

事業担当：保健相談センター

基本目標5 子どもが安全・安心に過ごせる生活環境の整備

安全・安心な道路環境の整備

■和木町通学路安全推進会議

通学路における交通安全を確保することを目的として、7月26日に通学路の安全対策会議を実施し危険箇所を現地調査し、その後の対策等について協議を行いました。

事業担当：教育委員会、企画総務課、都市建設課

子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進

■令和4年度家庭用防犯カメラの設置事業

防犯カメラ30台の設置に係る費用の一部564,000円を助成しました。

事業担当：企画総務課

■わきスクールガード

令和4年度は、登録者21名がジャンパー、ベスト、腕章を身に付け、日々の児童生徒の登下校の見守りを実施しました。

事業担当：教育委員会

基本目標6 相談体制の充実

■相談窓口のネットワーク化

保健相談センターに「子育て世代支援センター」を開設し、乳幼児期から出産期までにおける総合的な相談窓口を開設しています。また「和木町面接相談」を教育委員会、保健相談センター、こども園、小学校、中学校と連携し開催。山口県スクールカウンセラー事業、スクールソーシャルワーカー派遣事業を活用し、問題を抱える子どもや、その保護者に対して早期に対応できるようにネットワークの強化を図っています。

子育て世代支援センター 相談件数

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談件数	74件	205件	273件

事業担当：保健相談センター

■スマイルルームの設置

平成9年4月より専属の教育相談員2名を配置し、フリーダイヤルの開設、教育相談等を行っています。

スマイルルーム利用児童数

	令和4年度
在籍数	5人
相談件数	14件

事業担当：教育委員会 ※数値（人数と件数は）令和4年度から記載